

平成30年度 第1回公民館運営審議会会議録

日 時 平成30年7月25日(水)
午前10時00分から午前11時30分
場 所 市役所 東館3階 教育委員会室
出席者 神谷委員、中野委員、魚住委員、三輪委員、斎藤委員、小崎委員
事務局 教育長、教育部長、生涯学習課長、課長補佐、担当係長、担当
欠席者 都築委員、黒田委員

司会進行 課長補佐

1 委嘱状交付

平成30年4月1日より小崎委員に、岩本前委員の残任期間を委嘱。

2 委員長あいさつ

3 教育長あいさつ

委員長が議長となり議題の進行を行う

議題

(1) 平成29年度公民館まつりについて、事務局より説明

- 委員 ・委員から提案されたスタンプラリーが好評であった。今後も続けてもらいたい。
・公民館サークルしか出展出演していなかったが、去年は放課後子ども教室の子どもたちの作品も展示してあった。子どもたちが見に来てくれれば集客になる。今までにない変化である。
- 委員長 子どもたちが一生懸命作った作品を展示するのはいい機会である。公民館まつりは、公民館サークル登録者のみが出展するものであったがどうか。
- 事務局 基本的には公民館サークルに登録した団体の作品展示をしている。しかし、出展数が減ってきている経緯もあるので、新たな集客に繋がることを加味して、今後、公民館サークル代表者会議で検討し、関係する団体の出展を認めていきたいと考えている。
- 委員長 新しい作品の展示は、親などの新しい集客にも繋がるため、悪いことではない。南部公民館で活動をしている子どもたちの成果発表はいいこと

だと思う。

委員 アンケートのコメントの中に、「年々高度な作品が出ているが、出品作品が少なくなっている」という指摘がある。上手な作品ばかり並んでいると、参加したい人がいても気が引けてしまう。その課題に、これからのように対応していくべきか。

委員 サークルの年齢層が高くなってきているのは、はじめは初心者だったメンバーの技術が上達し、新たに加入する初心者との差が開いているのが現状である。また、高齢化によって、公民館まつりの準備も苦勞するようになってきた。

委員 初めて来る人をいかに出やすくする面と、技術が高度になってきた人がどう対処するかが、課題として見えてきた。

事務局 以前は新しいサークルができていたが、最近では新しいサークルはあまり作られていない。対処としては、既存のサークルが新規の参加者の指導をしていくのか、初心者の新しいサークルを作るのかのどちらか。

委員長

- ・たまに絵画サークルの中に、初心者らしい絵を見つけると、プロの絵画展にはないホッとした気持ちになる。また数年経つとその人の成長も感じられる。公民館まつりは、初心者でも安心して出展できる場である。
- ・俳句の体験コーナーは身近に感じられてよい工夫である。
- ・公民館まつりに行くと、新しい感動があり、30～40分くらい楽しめる。ただ、行ってみようという気を起こさせるのが難しい。

委員 アンケートのコメントの中に、「10年前より、サークルも出品も少なくなりましたが…どうなるのでしょうか」とあるが、課題として考えなくてはいけない。

委員 「俳句の体験会はインパクトがあって良かった」というコメントから、見るというより体験するというのが、楽しさに繋がった。観光でも、物見ユーザーよりも、体験することが重視される時代になってきている。それを公民館まつりでもやると、人が集まるような気がする。

委員 体験型の展開を考えてもらうと良い。

委員長 フラダンスやコーラスも一緒にやってみようと言われると、その場にいる人は参加せざるを得ない。でもやってみると楽しい。単なる発表ではなく、一緒にやる体験を企画して、チラシに書くと初心者も参加しやすいのではないか。

委員長 いろいろな意見が出たので、引き続き検討をお願いしたい。

- (2) 平成29年度後期公民館事業報告について事務局より説明
併せて、平成29年度公民館利用状況についても事務局より説明

委員 定員が空いている講座であれば、テーマに関係する職員にも声をかけてみるといいのではないか。

事務局 関係する部署には、講座が被らない様に事前に確認する。今後、積極的に職員の参加の呼びかけをしていきたいと思う。

委員長 公民館講座は、ここ数年で比較すると受講生が増えてきている。事務局のテーマ設定の努力が見える。

委員 中部大学市民講座で、当日の受講者に子どもはいたか。

事務局 子どもの参加もあった。おもしろい講座であった。

委員 子どもも聞いておもしろい講座であれば、学校でもPRできるとよい。夏休み前の終業式などで宣伝できないか。

事務局 校長会等を通じて宣伝したい。

委員長 PRの方法を考えながら遂行していただきたい。

(3) 平成30年度公民館まつりについて事務局より説明

委員長 議題(1)で議論したように、体験などの本日出た意見を、公民館サークル代表者会議に反映して、出来る範囲で取り入れられるよう話をしたい。

(4) 平成30年度後期公民館事業について事務局より説明

委員 至学館大学市民講座のターゲットにある文化継承団体は具体的にどんな団体か。

事務局 生涯学習課で文化継承活動補助を受けている団体を想定している。

委員 題名に専門的な言葉があると、難しい講座に感じる。一般の市民が見て分かりやすい言葉を使った題名にした方がよい。EQは分かりにくい。「心の知能指数(EQ)」とした方がよい。

委員 LGBTも分かりにくいのではないか。

事務局 チラシには、説明文の中に用語説明を入れてある。

委員長 若い人だと、逆に難しい言葉に食いつく人もいるかもしれない。

委員

- ・平成31年度の講座企画の提案として、SDGs(持続可能な開発目標)を取り上げてはどうか。2015年に国連サミットで世界基準の17目標を発表している。企業も観光も関係してくるので、いろいろ使える知識であると思う。
- ・「SDGsってなに?」「未来の作り方」などの切り口から。世界的な課題について、足元から考えられるような講座があるとよい。

委員 市の施策を後押しできるような講座を企画できるとよい。今回はどれにあたるか。

事務局 平成30年度は、LGBTはそれに当たる。

委員 講座の指針を出来るだけ活用して考えるのがいい。市の施策を意識しながら企画ができるとよい。

教育長 コンパクトシティにしていけないといけない。

委員 「住民参加のまちづくり講座」とか。市の最大の課題は何か。

教育長 施設の老朽化が課題。教育委員会は施設の6割が学校で、40～50年前に建てられた建物。その更新に多くの費用がかかるが予算がない。

委員 講座を、市民が自ら学習できるようなテーマにする。自分たちの町を何とかしなくては、と考えさせる。

委員 シアトルでは、住民がプランターを作って通りを飾る。まちづくりを町全体でやっている。そういった市民の意識を育てることも大切である。

教育長 市民が主体的にまちづくりに参加するということである。

委員 市民が自ら考えるよう、伸ばしていく。市役所は、市民を動かす方法を考えていくのがよいと考える。

委員長 市民を育てる講座を作っていくとよい。

委員 まちの発展は、歴史をうまく残したものがよいというのが、ヨーロッパで言われている。豊明の歴史を発掘しながらまちづくりに入れていくとか、町歩きをして楽しい町は人が集まるので、そんな企画を立てるとか。

委員 ボストンは、町歩きすると歴史的な史跡を巡れるような案内がある。

委員 地形を遊ぶという感じで、高低差を楽しむ町歩きとか。

委員長 教育長や教育部長の知恵を借りながら、知恵を絞って講座を企画してほしい。

(4) その他について

事務局 中央公民館のガラス展示ケースの展示品の入れ換え及び、南部公民館の掲示用パネルの利用について、公民館サークル代表者会議での決定事項を報告。

委員長 他に何かありますか。
無いようですのでこれにて審議会を終了します。